



～音楽が紡ぐ“緑”～

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第391回定期演奏会 THE 391ST SUBSCRIPTION CONCERT

指揮
イルジー・ローゼン
Conductor
Jiří Rožeň

ピアノ
奥井 紫麻
Piano
Shio Okui

©Ilona Sochorova

©Takahiro WATANABE

2019.6.8 (土)

15:00開演 [14:00開場]

Sat Jun 8, 2019 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ステンハンマル：交響的序曲「エクセルシオール！」
Stenhammar : Symphonic Overture “Excelsior!” Op.13

グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調
Grieg : Piano Concerto in A minor Op.16

ニルセン：交響曲第4番「不滅」
Nielsen : Symphony No.4 Op.29 (FS.76) “The Inextinguishable”

Concertmistress : 蔵川 瑠美 Rumi Kurakawa

チケット(税込/全席指定)
S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)
※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2019年4月8日(月)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン
アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場
ローンチケット(Lコード:62123)・チケットぴあ(Pコード:142-483)・中国新聞社読者広報部
中国新聞販売所(取り寄せ)・広警事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛/  マツダ株式会社

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

広島公式ホームページ▶
HP : <http://hirokyo.or.jp>




beyond
2020

お問い合わせ ▶ 広警事務局 TEL : 082-532-3080

新たな出会い

楽団にとって新たな演奏家との出会いはいつもワクワクします。今回は指揮者もソリストもフレッシュで有望な若手をお迎えします。イルジー・ローゼン28歳、特に昨シーズンの活躍には目を見張ります。ベルリン・ドイツ響、BBCフィル、アルスター管、チェコ・フィル等に客演し、いずれも成功を収め、チェコ・フィルからは重要なプロジェクトを任せられるに至っています。この度の広響への客演が日本デビューということで、広響がこれまで培ってきた北欧プログラムに挑戦いただきます。現在ロシアで研鑽を積み奥井紫麻、すでにゲルギエフ指揮のマリンスキー歌劇場管と共演済という驚異の15歳。演奏を聴いたキーシンから驚嘆のコメントが寄せられ話題となる等、聴衆だけでなく共演者を含め、その場の全てを虜にしてしまう魅力の持ち主です。二人とも今回は広島だけのために来日します。広島の地で結ばれる新たな“縁”が将来どのように発展するのか、楽しみです。



指揮 / イルジー・ローゼン

Conductor / Jiří Rožán

同世代で最も刺激的で将来が期待される指揮者の一人。ネスレ&ザルツブルク音楽祭ヤング・コンダクターズ・アワード及びドナテッラ・フリック指揮者コンクール(ロンドン)のファイナリスト。BBCスコティッシュ交響楽団のアシスタント・コンダクターとして、BBCプロムスやエディンバラ国際フェスティバルではドナルド・ラニクルズやトマス・ダウスゴーのアシスタントを務めた。

これまでに、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、BBCフィルハーモニック、アルスター管弦楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団、ウィーン・コンツェルト・フェライン、クロアチア放送交響楽団などと共演。二つの世界的音楽祭、「クルージュ音楽の秋(ルーマニア)」と「スメタナのリトミシュル(チェコ)」にも出演し、トランシルヴァニア・フィルハーモニー管弦楽団とチェコ室内管弦楽団を指揮した。

1991年生まれ。プラハ、ザルツブルク、ハンブルク、チューリッヒ、グラスゴウの音楽大学で指揮法を学ぶ。ガリー・ウォーカー、デニス・ラッセル・デイヴィス、ウルリヒ・ヴィントフア、ヨハネス・シュレーフリに師事。また、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、チューリッヒ・トーンハル管弦楽団とのマスタークラスでは、ダニエレ・ガッティ、ベルナルド・ハイティンク、デイヴィッド・ジンマン、ペーテル・エトヴェシュなどからも強い影響を受けている。



ピアノ / 奥井 紫麻

Piano / Shio Okui

感性、歌心、技術の全てに恵まれた稀有な存在。

2004年5月生まれ。5歳半でピアノを始め、7歳よりエレナ・アシュケナージに師事。2017年9月よりチャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院附属中央音楽学校で学び、2018年よりグネーシン特別音楽学校へ編入。タチアナ・ゼリクマンに師事。ウラディーミル・スピヴァコフ国際慈善基金奨学生。8歳でオーケストラと初共演し、12歳でワレリー・ゲルギエフの招きでウラジオストクにてゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演。スピヴァコフ氏とも10歳より度々共演を重ね、13回目を迎えたスピヴァコフ国際慈善基金主催のフェスティバル“Moscow Meets Friends”のグランドオープニング・セレモニーにて、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトージと共にフェスティバルの開幕を飾った。

2016年Grand Piano Competition(モスクワ)最年少受賞、2015年第1回クライネフ・モスクワ国際ピアノコンクールジュニア部門最年少第1位、2013年第10回ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール“Horowitz-Debut”部門A及びDカテゴリー第1位及びウクライナ文化省特別賞等受賞。

受け継がれるエスプリ

フォーレにまつわるフランス作曲家の織りなす“縁”を一夜のコンサートで表現しました。広響終身名誉指揮者、秋山和慶が魅せるフローラン・シュミットの「サロメの悲劇」を軸に、美しくも悲劇性をたたえた両オーケストラ曲と、オリエンタルな陰影と華やかさ溢れるヴァイオリン曲により、四人の作曲家の個性が絶妙なバランスで組み合わされた選曲を楽しむことができます。しかも世界の第一線で活躍するアラベラ・美歩・シュタインバッハーを迎え、巨匠ギトリスから音楽的影響と指導を受け、最も得意とする小品集からの代表的な2曲が生で聴ける滅多とない機会に、今から胸が高鳴ります。

フォーレ：管弦楽組曲「ペレアスとメリザンド」

Fauré : Pelléas et Mélisande, Suite Op.80

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ

Saint-Saens : Introduction et Rondo Capriccioso Op.28

ラヴェル：ツイガース

Ravel : Tzigane

フローラン・シュミット：バレエ音楽「サロメの悲劇」

Florent Schmitt : La Tragédie de Salomé, Op.50

指揮 / 秋山 和慶
Conductor : Kazuyoshi Akiyamaヴァイオリン / アラベラ・美歩・シュタインバッハー
Violin : Arabella Miho Steinbacher

2019.7.12(金)

広島交響楽団
第392回
定期演奏会

広島文化学園HBGホール
18:45開演(17:45開場)

あなただけの
マイシート

2019年度

定期全3回公演

中期定期会員募集のご案内

S席/13,500円 A席/12,500円 B席/11,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2019年4月15日～9月12日)